

# つらいときには気分転換をし、メリハリをつけて勉強してください。 ここでの頑張りが必ず将来の財産、経験になるはずです。

**理系のためゼミの研究が忙しくなることが予想されたので、自分のペースで勉強できる通信講座を選びました。**

■神奈川県を希望した理由はなんですか？

神奈川県を希望したのは、自分が生まれ育った街だからです。人口も多く、田舎と都会の両方の良さをもっており、そのような県で働きたいと思ったからです。

■いつ頃から公務員になろうと考えましたか？

大学3年生の夏頃から公務員試験に関する情報収集をはじめ、10月頃には実務教育出版の通信講座を申し込みました。

父親が公務員ということもあり、小さい頃から漠然と自分も公務員になるのかなと思っていましたが、改めて父親からも話を聞き、公務員になろうと決めました。

■どんな公務員になりたいですか？

「熱意がある方、一緒に働きましょう！」という説明会での知事のメッセージが心に響き、いい意味で公務員の堅いイメージを崩せるような公務員になりたいです。

■当社の通信講座を選んだ理由はなんですか？

私は志望した時期が少し遅かったのと、理系の学部だったためゼミの研究などで忙しくなるため、自分のペースで勉強を進めたいと思い、通信講座を希望しました。周りに公務員志望の友達もいなかったため、インターネットで通信講座の比較サイトをみて、費用面や実績が一番よかった実務教育出版の通信講座に決めました。

■学習スケジュールはどのように計画を立てましたか？

まず希望する受験先の試験型や配分を確認し、教養と専門でそれぞれ何が重要かを確認しました。

学習プランシートも活用して計画を立てましたが、時間がないということがわ

かったので、教養は数的推理と判断推理、専門は法律系と経済系をさらに重点的に勉強を進めることにしました。

■教材をどのように利用して学習をすすめましたか？

判断推理と数的推理は、テキスト&ワークの問題をまず解いてみました。私は理系のため、特に数的推理は理解することができましたが、判断推理は知らなかった解き方があったため、テキスト&ワークの問題を解いて間違えた問題だけ確認をし、解説から学んでいきました。

また『スーパー過去問ゼミ』シリーズの書籍を購入し、問題演習を1日3問ずつ解いていきました。

専門試験の法律系については、今まで勉強をしたことがない分野だったため、まずはテキストブックを読みこみました。最終的には3~4周は読みました。ワークブックの問題も解きましたが、わからない問題が多く、問題の解説やテキストブックを見ながら、問題を解いていきました。

また、1問からより多く学ぶということを意識しながら勉強を進めました。正解の選択肢だけを理解するのではなく、正解ではない選択肢がなぜ違うのかということも理解するようにしました。

行政系については、『公務員試験 行政5科目まるごとパスワードneo』という書籍を利用しました。



最初は勉強方法がわからなかったため、大事そうな事項ややるべきことを手帳に書き出していました。

**研究とは時間を区切り、図書館に通うことでスイッチを入れ直し、質の高い学習を心がけて対策を進めました。**

■大学の勉強や研究室と通信講座をどのように両立させましたか？

同時に勉強をするのは難しいと考え、しっかりと自分で時間を区切るようにしました。研究室にいるときは研究に集中し、研究が終わったら、自習時間をとっていました。平日は研究室のあと学校で勉強し、休日や試験の直前期は図書館に通っていました。

■大学の指導やセミナーといったサポートはありましたか？

文系の学部向けに公務員セミナーがありました。予備校の講師の方が論文の書き方や面接対策について説明をするといった内容でした。また、就職セミナーに神奈川県庁の方が来て、理系の職種向けの話ではありましたが仕事内容を説明いただきました。自己PRなどの面接対策は、大学のキャリアセンターを利用し、添削等をおこなっていただきました。

■勉強時間はどの程度確保しましたか？

平日は1日3~4時間取ればよいほうでした。土日は学校がなかったため、最低5~6時間ほど勉強をしました。1週間にすると20~30時間です。試験直前期は研究室も休んでいたため1日10時間ほど勉強していました。

また勉強は学校の図書館や近所の図書館でするようにしていました。家だと集中が途切れてしまいやすいので、図書館で勉強することによりスイッチの切り替えができ、メリハリをつけることができました。

■学習するにあたり、心がけていたことはありますか？

私は時間がなかったので、「質を高める」

ということを一番重視していました。

また「基礎をしっかり理解する」ということも意識しました。根本を理解できれば、未知の問題も何とかできると感じていました。法律を勉強していた時、基本的な考え方をしっかり理解していったので、知らない判例が出てきても、だぶんこうだなと判断でき、正解を導くことができました。

■学習をするにあたり、生活面や精神面で犠牲になってしまったことはありますか？

周りに公務員志望の友達がいなかったため、精神面ではつらかったです。とくに、公務員試験は合格がわかる時期が、民間の就職の内定が出る時期よりも遅かったため、早いと4年生の5月中旬頃には就職先が決定している友達もいる中、私はまだ決定していないという状況でした。その時期は不安は大きかったです。

■モチベーションをあげるためにしていたことはありますか？

志望先のパンフレットを持ち歩くようにしていました。パンフレットの中に、若手職員の対談記事があり、若手職員の方々も試験勉強はつらかったと書かれており、「試験勉強はつらいのが当たり前なんだ」とその記事を読んで励みにしていました。

他には、勉強版SNSアプリで同じ志望先の人をフォローして、どういう教材を利用してどれだけ勉強をしているのかというのを見ていました。自分以外にも頑張っている人がいるというのを知ることができてよかったです。また、ずっとひとりで勉強している時間が多かったため、リフレッシュするためにたまに友達と遊びにいきました。友達と話すことで気分転換になっていました。

## Profile

神奈川県 I 種 行政 採用

湯川 昌輝さん

明治大学卒業  
大卒程度公務員コース 受講



**とにかく間違えた問題は解説を読んで理解する。  
そして、何度も何度も解き直しました。**

**■学習はどのように進めていきましたか？**

まず教養だと取りかかりやすい数的推理から始めました。専門は法律の基礎になる憲法からとりくみました。そのあと行政法を勉強し始め、最後に民法に取りかかりました。経済は大学3年生の年明けから始めましたが、理系だったので抵抗なく取りくむことができました。

**■苦手科目とその克服方法は？**

出題数は多くないのですが、単純な暗記が苦手だったので、社会科学や人文科学がなかなか覚えられず大変でした。そこで、苦手科目は出るところに絞って、要点チェックだけを何度も繰り返しました。主要科目はしっかり学び、苦手科目は要点チェック

のみというように、メリハリのある勉強を心がけました。

**■『直線対策ブック』はどのように活用されましたか？**

科目別に試験に出るところがまとめられていたので、とにかく読んで理解をするようにしていました。

**■実力判定テストや公開模擬試験はどのように活用されましたか？**

最初に受験予定の地方上級に関するものから取りくみました。そのあとに問題をこなすため、市役所や国家一般職の公開模擬試験を利用しました。あまりよい点数が出なかったのですが、点



過去問演習で間違えた所や解説を読んで知らなかった知識を小さなノートに書き留めて持ち歩きました。

数は重要視していませんでした。自分が間違えた問題をしっかりと復習するようにしました。また一度受験したテストでも、何度も繰り返し解いて自己採点を行い、理解を深めていくようにしていました。

**■論文対策はどうしましたか？**

論文対策は、1週間に2時間ほど勉強をしていました。学科の対策をメインに行っていたので、気分転換程度に書いていました。

**■面接対策はどうしましたか？**

学校で民間就職者用の模擬面接を実施しており、そちらを利用しました。就職支援サービスを展開している会社主催のものや、学校のキャリアセンター主催の模擬面接に参加しました。予想していない質問なども聞かれたので、本番の面接前に利用してよかったです。

**■通信講座を受講する前と後では生活に変化などありましたか？**

勉強面では、知らなかった知識を多く知ることができたので、知識量を増やすことができました。生活面では、朝から勉強をしていたので規則正しい生活になりました。精神面では、ひとりでの勉強だったため孤独な状況でしたが、それを乗り越えることができたので自分の糧になるようないい経験となりました。

**■通信講座を受講してよかったと思うことはなんですか？**

結果として合格ができたことです。また定期的に配信されるメールマガジンで公務員試験に関する情報を得ることができたり、体調を気づかせてくれる一言が書いてあったりして、元気づけられました。

**■添削指導はどうでしたか？**

論文のみ添削をしていただきましたが、すごく丁寧でした。誤字など自分でも気づかなかったところまでチェックしていただけたので、よかったです。

**■これから受験する方へのメッセージをお願いします。**

周りに公務員志望の友達がいなかったり、周りの友達が民間就職を先に終えてしまったりと精神的に孤独

な戦いになると思います。また対策する科目量も多く大変ですが、毎日コツコツと勉強をしていけば絶対合格はできると思います。前向きに、地道に頑張ってください。



**年間のスケジュール**

	2016年 10月	11月	12月	2017年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
教養試験	知識分野						自然科学 ★ワークブックで演習					
	知能分野	判断推理 数的推理 ★1日3問ずつ毎朝のルーティーン					人文科学・社会科学→要点チェック					
専門試験	行政系科目						★テキストブックを読み込み、なんとなく理解する	まるごとパスワードneo ★スキマ時間にワークブックで演習	過去問500			
	法律系科目	憲法→行政法→民法 ★テキストブックを読み込む		憲法演習 ★スー過去		行政法演習 ★ワークブック						
	経済系科目					民法演習 ★ワークブック						
テスト						経済原論・ミクロ経済・マクロ経済 ★ワークブックで問題の傾向や解説を確認 テキストブックで知識を埋めていく スー過去で演習						
						実力判定テスト 外部模試 最低5回は解き直し	公開模擬試験					
面接・論文						論文対策						
								面接対策・自己PRなど 学校や友人に				
メモ									神奈川県庁1次 (6/25)	神奈川県庁2次① (7/18) 秦野市役所1次 (7/23) 国立大学法人 (7/2)	神奈川県庁2次② (8/7) 秦野市役所2次 (8/16) 秦野市役所最終 (8/30)	神奈川県庁合格 (9/1)

**1日のスケジュール**

平日	休日	直前期
06:00 起床	起床・勉強準備	起床
07:00 勉強準備		勉強準備
08:00 移動	アルバイト	移動
09:00		
10:00	移動	
11:00		
12:00 授業や研究室活動		
13:00		
14:00		
15:00		勉強(市の図書館)
16:00		
17:00 アルバイト	勉強(市の図書館など)	
18:00 or 部活		
19:00 or 勉強		
20:00		
21:00		
22:00 帰宅・夕食など	帰宅・夕食など	帰宅・夕食など
23:00		
00:00 就寝	就寝	就寝